

Mランドニュース Vol. 85

丹波ささ山校 平成26年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

人を先にし

自分を後にす

『仏教聖典』より

『命に感謝する日』
3. 11を忘れないく

平成二十三年三月十一日、午後二時四十六分、大きな傷跡を残した東日本大地震から三年が過ぎ、私たちは平穩に生活しています。

しかし、この震災で失った一五、八八四名の尊い命と共に、未だ行方不明の方が二、六三三名、そして今もなお、二十七万人近くの方が被災生活を余儀なくされています。そんな中、私達の出来ることは、三・一一が今も続いていることを忘れないことだと思えます。



東北に思いをよせて

当日、Mランドでは、午後一時に館内放送で黙禱のお願いをしたところ、ゲストで賑わうロビーは、水を打った

ように静まり、三・一一の日をあらためて思い起こされたようでした。ゲストと共に一分間の黙禱をさせていただけました。物音ひとつないこの時間、みんなの思いがひとつになった時間でした。

私たちにとって三月十一日という日は、「命がある」と教えてもらえる日です。二〇一一年秋、Mランドフェスタに宮城県石巻市からお越しいただいた、「木の屋石巻水産」中村暢宏様(のぶひろ)の中学生の娘さんの作文を聴き、「当たり前が当たり前ではない」という言葉が、今も私の胸に深く刻まれています。この言葉を聴き、今、生きていくことに感謝し、楽しく生きようと考えさせられました。

「知好楽」、人生は一度しかありません。どうせやるなら、「やらされてる」ではなく「やろう」、どうせやるなら「楽しくやろう」、そして少しでも他人の役に立つ事ができれば大きな力になります。皆さんも笑顔で楽しみましょう！それがエールになり、日本を元気にするのではないかと思えます。

南勝 宏幸

Mリンピック開催

三月十五日、夕方のインターバルに、この時期恒例のMリンピックを開催しました。

インストラクターになかば強制的？に誘われた約四十名のゲストは、これから行なうイベントに目を輝かせていました。



今から始まるイベントにドキドキです！

四チームに分かれての対抗戦！内容はいつも運動している教習車を力合わせて押し、コースを一周する単純なことです。しかし、約一トンもの自動車を押す、半周交替による一チームごとのタイムトライアル。スタッフの安全対策のもと、歓声とともにスタートです。「なんと重たい！」エンジンの力で簡単に動いているように見える自動車も、人の力で押すと

なると「こんなに重いんだあ」。

また、動き出せば勢いがついて、交替時は十人入り乱れての大騒ぎです。止まっている自動車と、動いている自動車を押す違い、身をもって慣性の力に気付きます。

ちょっと遅れ気味のチームに「よしっ！」とばかり、橋間インストラクターが応援に走りだしましたが、追いつけず大爆笑の場面も…。



全力疾走もおよばず…

この競技の醍醐味は、若い力を出し尽くし、知らないゲストとの共同作業から生まれる一体感です。今回のイベントを機に友だちが増えるのもMランドマジックかも知れません。

何事にも「知好楽」、共(友)に学ぶのがMランドです。これからも遊びの中に、ゲストと共に本物を創造していきます。そして、優勝チームは大喜びでした。おめでとうございます。

中野 聡

トイレ掃除に学ぶ会の皆様へ

今日の朝、トイレ掃除でお世話になりました。

掃除の仕方だけでなく、水や物の大切さ、「失敗は失敗ではなく、上手くなるためのステップ」ということなど、忘れかけていた大切なことに改めて気付かされました。

氏名 堀家 萌 様

インストラクターの皆さんへ

教習や朝のボランティアで大変お世話になりました。

四月から小学校教員として、働かせていただきますが、子どもたちと掃除や整頓をする時間には、先を考えてすることや、相手を思いやる気持ちなど行動の意味を考えて、ここで学んだことを伝えていきたいと思えます。ありがとうございました。

氏名 松井 綾香 様

今月のありがとうカード

広がる心磨き

三月十四日、小野市立河合中学校二年生の、「掃除に学ぶ会」に参加させていただき、四十一名の皆さんと便器を磨かせていただきました。



心と目を近づけて

はじめの会のあと、七班に別れて、いよいよ掃除の開始です。私の班は、男子六名で男子トイレでした。まず、脱

いた靴をそろえることから始まり、掃除の三つの約束、①しゃべらない(他人と比較せず、目の前の汚れに集中する) ②道具を大切に使う(思いやり) ③便器をしっかりとつかむ(気持ちを含める)を説明し、便器に向かいま



根気よく磨いています

今回、私は必要なことだけを言い、汚れに応じた道具の選び方や、磨き方を生徒にまかせて見てみました。汚れによっては根気のいるものもありますが、あきらめない一所懸命な後ろ姿を見ていると、胸に熱いものが込み上げてきました。時間内には、長年の汚れを全部落とすことはできませんでしたが、次回ということで皆で道

具の後片付けをしました。



終わりの会のようす

終わりの会では、「最初はすごく嫌だったが、やはりはじめたら楽しく時間が短かった」、「道具を大切に使うことを、あらためて気付かされた」、「隅々までやる気持ち良さを知った」、「学校のトイレがきれいかどうかで、学校の様子が分かる。皆でやった達成感で最高学年を迎えたい」などの、各班の体験発表がありました。掃除を終え、達成感に満ちた生徒の清々しい顔を見て、先生再び感涙されました。

ゲスト投稿

東京都板橋区からお越しの飯田瑛理香様からの投稿をいただきました。

合宿免許に来て陶芸が出来るというのを知り、篠山で

の生活をより満喫したく、卒業を目前に陶器作りに申し込みました。

私は陶芸をこれまで二度、経験していましたが、電動ろくろを使用したことはなく、一度やってみたく思っていました。

初心者でも簡単に作れる細作りという方法と、電動ろくろを使用した方法の両方のやり方で作ったのですが、どちらも楽しくあつという間に、時間が過ぎていきました。優しく丁寧に教えてくださるので、初めての方でも楽しめると思います。



さあ、何ができるかな？

最初はMマナーを二〇ポイントも貯めるなんて、大変そうだと感じましたが、「ボランティア参加」と「ありがとうカード」で意外とすぐに貯まりました。皆さんも是非行ってみてはいかがでしょう。運転免許と一緒に、きつと良い思い出になると思います。

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

4/13(日) 八上小学校 東トイレ (AM8:00~9:00)

4/27(日) 篠山中学校 屋外トイレ (AM8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

編集後記

「お天道さま」が輝いていた日本

毎朝、たくさんのゲストがボランティアに参加されます。そのひとつに、「近隣掃除に学ぶ会」があります。大きな袋に道路のゴミを拾い集めま

す。数日前に掃除した道路も、帰るころには袋にとっさり。近年は、レジ袋に詰め込んだゴミのばい捨ても多くなりました。「お天道さまが見ているに...」。



(徹)

を教えてきた日本人。 私たちの先祖はよいものを継承し、それに工夫を重ねて技を磨き、心の修養に努め、徳を高める生き方をしてきたのです。そうして、自己中心的な生き方ではなく、世の中をよくするため、他人の役に立つために、という公共心を養ってきました。

このことが思い出されました。掃除後の感想発表では、「気持ち良くなった」、「通りがかりの人があいさつをしてくれた」、「よく見ればゴミがけっこう落ちている」と共に「自分は捨てないようにはします」と言ってくれます。お天道さま、ニッコリ。